

【レジюме（フランス語論文）】

**Le 19<sup>e</sup> siècle et la littérature fantastique**  
— **Le fantastique de Balzac et celui de Maupassant** —

（『仏文研究』28号、1997年9月、pp. 83-101）

Kyoko MURATA

フランスにおいて、「幻想文学」が本格的に出現したのは19世紀初頭であり、「幻想文学」は19世紀を特徴づける文学ジャンルとみなすことができる。本論文では、その代表的な2作品—バルザックの『あら皮』とモーパッサンの『ル・オルラ』—を取り上げ、両者を比較検討することで、その共通点と相違点を浮き彫りにした。さらに、自己の中に「未知の存在（＝無意識）」を初めて発見した19世紀の知識人たちの危機意識を反映したのが「幻想文学」であると捉え、その意義を考察した。